宇宙怪獣ガメラ（1980）

SUPER MONSTER

メディア 映画
ジャンル 特撮　アドベンチャー
製作国 日本
色彩 Color
時間 91分
初公開日 1980/03/25
公開情報 大映

【解説】

宇宙の星々を次々と滅ぼしてきた宇宙海賊ザノン号が次の目標を地球に定めた。平和星Ｍ８８から派遣され、地球人の中に身を隠していたスーパーウーマン－キララ、ミータン、マーシャはこれを察知する。ザノン号からも侵略の邪魔となる彼女たちを捜し出すべく、工作員ギルゲを派遣した。ザノン号から次々と怪獣が送り込まれるが、武器を持たないキララ達は対抗する術がない。キララは友人の圭一少年からガメラの事を知り、念力でガメラを呼び出す。かくして、ガメラと怪獣軍団の激闘が始まった。

ガメラと怪獣の格闘シーンは過去７作のものを使用し、これにドラマ部分と新たな特撮シーンを追加した構成ではあるが、緻密な編集で新作として十分楽しめる物になっている（なお、モノクロで対戦怪獣のいない第１作の映像もさりげないところで上手く使用されている。是非、実際に作品を見て確認されたい）。また、作品の随所に「宇宙戦艦ヤマト」「銀河鉄道９９９」「キン肉マン」「亀有公園前のお巡りさん（パンフレットのキャスト表では両津巡査）」「某怪獣王そっくりの怪獣（の立て看板）」「スターウォーズ（敵の宇宙船・ザノン号のデザインやショットがスターデストロイヤーそっくり）」など、当時の子供が喜びそうものがそのものズバリまたはパロディとして、これでもか！これでもか！と登場している。常に子供が楽しめる事を目指していたガメラシリーズの本領発揮とも言える作品である。

特撮面では当時の最新技術の東通ＥＣＧシステムが効果的に使われ、従来にはない斬新な合成シーンを作り出した。マッハ文朱はこれが映画初主演となるが、３人共通のはずの変身ポーズが彼女だけ微妙に腰のひねりと目の座りかたが違うなど、この作品に向ける熱意が観る者にも十分に伝わってくる。松竹では『機動戦士ガンダム』を上映するなどアニメブームの時代に、大映が敢えて実写で勝負を賭けた意欲作。同時上映は『鉄腕アトム』。

【クレジット】

監督	湯浅憲明
製作	大葉博一
企画	徳山雅也
プロデューサー	徳山雅也
	篠原茂
脚本	高橋二三
撮影	喜多崎晃
美術	横島恒雄
編集	田賀保
音響効果	小倉信義
	小島明
音楽	菊池俊輔
特技・撮影	築地米三郎

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.

	藤井和文		
	金子友三		
特殊技術	東通ＥＣＧシステム		
特技・美術	井上章		
	山口熙		
	矢野友久		
	石塚章隆		
特技・操演	恵利川秀雄		
	金子芳夫		
	関谷治雄		
	田中実		
助監督	村石宏實		
ナレーター	中村正		
出演	マッハ文朱	Mach Fumiake	キララ（Ｍ８８星人）
	小島八重子		マーシャ（Ｍ８８星人）
	小松蓉子		ミータン（Ｍ８８星人）
	前田晃一		木下圭一
	高田敏江		圭一の母
	桂小益		亀有公園のお巡りさん
	工藤啓子		ギルゲ（宇宙海賊ザノン工作員）
	林博二		不良少年
	池田真		圭一の友人
	飛田喜佐夫		運転手
	斉藤安弘		アナウンサー
	豊隅哲朗		
	小林英樹		
声の出演	小林修		キャプテンの声

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.